

林謙三先生 没後50年記念国際シンポジウム

正倉院音楽の復元と 東アジア古楽譜の解説

東アジア古代音楽研究に大きな足跡をのこした林謙三先生(1899-1976)の業績の一つに、正倉院楽器の研究がある。1947年、正倉院事務所の委嘱により始まった同研究は横笛・尺八・甘竹簫・笙・竽・琵琶・五絃・阮咸・琴・箏・篳篥・準など楽器全般から伎楽面にまで及び、それを基礎に楽器の模造・復元、正倉院音楽の復元演奏が試みられ、日本雅楽研究の礎が築かれた。

林先生没後50年にあたる2026年、先生の正倉院楽器調査・研究資料および復元楽器が本学博物館に收藏されることを記念して、国際シンポジウムを開催する。今回は、林先生の研究を継承・発展させた二人の音楽学者による古楽曲の復元演奏を行い、林先生のそれと比較する画期的な試みがなされる。

日時 2026年12月19日(土) 13:00-17:00

参加無料

会場 関西大学千里山キャンパス 以文館4階 セミナースペース

オンライン配信あり

第Ⅰ部 13:00～15:00

司会 長谷部剛 (関西大学 教授)

1 林謙三の生涯とその業績
山寺三知 (國學院大學北海道短期大学部 教授)

2 古楽譜によるレクチャーコンサート
『天平琵琶譜』・『宗明楽』・『春庭楽』

復元・解説：遠藤徹 (東京学芸大学 教授) / スティーヴン・G・ネルソン (法政大学 教授)
演奏：伶楽舎 (笛、箏、笙、琵琶、五絃、箏、羯鼓、太鼓)



第Ⅱ部 15:10～17:00

司会 山寺美紀子 (関西大学東西学術研究所 非常勤研究員)

1 林謙三の正倉院楽器研究
長谷部剛 (関西大学 教授)

2 <座談会> 林謙三の古楽譜研究の継承と展開

司会：根本千聡 (京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター 特別研究員)
遠藤徹 / スティーヴン・G・ネルソン / 伶楽舎

主催

日本学術振興会・科研費・基盤研究(B)
「日本における雅楽と琴楽の音楽学的・文献学的アプローチによる総合的研究」/
関西大学緊急支援経費「正倉院音楽の復元と東アジア古楽譜の解説」

お問い合わせ

関西大学文学部 長谷部剛研究室
Tel 06-6368-0558 Mail thasebe@kansai-u.ac.jp



関西大学

KANSAI UNIVERSITY

林謙三画 天龍山第16窟
天井浮刻より



お申し込み



<https://forms.cloud.microsoft/r/mQFPZcLz5M>